

TAKE FREE

歴史と文化を訪ねるまち

目黒を歩いてみよう。

ダイジェスト版

目黒観光 大百科

Meguro Tourism Encyclopaedia



一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会

Meguro Tourism Association

目黒の都市伝説を
見に行こう！

都市ボーイズの

都市伝説ツアーズ

in めぐる

大人気オカルトユニット「都市ボーイズ」のふたり
がお届けする、まったく新しい街ぶら観光バラエ
ティ。ナビゲーターの都市ボーイズが独自の目線
で目黒の観光スポットをご案内します。

彼らが語るお話しの真偽の程は目黒に来て、ご自身
の目でお確かめください！

チャンネル
登録よろしくね！

YouTubeチャンネル

 YouTube

「都市伝説ツアーズ」で
絶賛配信中！



日本近代文学館
駒場公園内にある近代から現代文学の殿堂



DATA

- 📍 目黒区駒場4-13-55
- 📞 03(3468)4181
- 🕒 9時30分～16時30分(最終入館は16時まで)
- 🗓 日曜・月曜 第4木曜・年末年始 2月と6月の第3週特別整理期間
- 🚶 京王井の頭線「駒場東大前駅」徒歩約7分



展示資料・所蔵作品

約15,000人もの人から資料の寄贈を受けた文学館です。川端康成かわばたやすなりや太宰治だざいおさむ、夏目漱石なつめ そうせき、芥川龍之介あくたがわりゅうのすけ、島崎藤村しまざきとうそん、石川啄木いしかわたくぼく、樋口一葉ひぐちいちよう、有島武郎ありしまたけおなど、日本近代文学を代表する、そうそうたる作家たちの手稿、原稿が保存されています。



▲太宰治「人間失格」原稿



ブックカフェ「BUNDAN」

様々なクリエイティブワークを手がけるBAKERUが、日本近代文学館の食堂内にオープンした文学カフェ。マニア垂涎すいぜんの稀少本から日本文学史を彩る名作まで、店内には約2万冊の書籍があり、どの本も閲覧が可能です。「芥川 AKUTAGAWAコーヒー」「太宰治のりんご酒」「坂口安吾の焼酎サンドイッチ」など、作家ゆかりのユニークなメニューが揃っています。

小説家で詩人でもあった高見順たかみじゆん※1や小田切進おだぎりすすむ※2ら文壇・学会有志の呼びかけで、1967(昭和42)年4月、駒場公園内にオープンしました。経済成長へ向かう激しい社会の移り変わりの中で、散逸さんいつのはなはだしい近代文学関係の資料を収集・結集させ、各界からの絶大な援助によってつくられた文学館です。モダンな校倉づくり※3風の白い近代的な建物の館内には、現在、図書や雑誌を中心に、数々の名作の原稿も含め約120万点の資料を収蔵。閲覧室や展示室で、書籍や電子媒体として公開しており、有名な作家さんたちも訪れています。

また、ブックカフェ「BUNDAN」があり、落ち着いた雰囲気店内には稀少な本から名作まで自由に閲覧可能な書籍が置かれ、ゆっくりと読書をしながらか文豪にまつわる料理やソフトドリンクなどが楽しめます。

- ※1) 高見順(1907～1965)…小説家・詩人。日本近代文学館設立にも尽力。
- ※2) 小田切進(1924～1992)…日本近代文学の研究者。
- ※3) 校倉づくり…木材を井桁いげたに組んで外壁とする建築手法。

ここに注目！

川端康成や太宰治など、数々の有名文豪の生原稿や貴重な初版本を多数保存する近代文学の宝庫。



「氏子は疫病知らず」と伝えられる神社
上目黒氷川神社



池尻大橋駅から目黒川を渡り玉川通りを東へ。通り沿いの鳥居をくぐり、石段を登った高台に鎮座する神社です。天正の時代(1573年～)に武田信玄の家臣である加藤氏が上目黒村へ移り住んだ際、甲斐国上野原(現在の山梨県)の産土神かみをこの地で祀まつったのが始まりといわれています。御祭神は悪疫撤退の神である「素盞鳴尊すさのおのみこと」、太陽の神「天照大御神あまてらすおのみかみ」、学問の神「菅原道真公すがわらみちざねこう」です。

上目黒村の鎮守として人々の生活を見守り続け、目黒川の度重なる氾濫や疫病からも氏子を守ったことから「この神の氏子はいにしえより疫病知らず」と伝えられてきました。現在も悪疫撤退や厄除の神様として崇敬を集め、多くの参拝者が訪れます。

社務所横にそびえる御神木はクスノキで、今から150年ほど前、近所に住んでいた人が植えたといわれています。不思議と成長が早く、手で持てるほどの苗木が今では高さ20mを超える大樹となりました。

境内には2つの末社まつしやがあります。境内西側に鎮座するのは稲荷神社。御祭神は「宇迦之御魂神うかのみたまのかみ」で農耕・産業全般の神様です。初午祭では商売繁盛や家内安全の祈願として、のぼり旗を奉納することができます。

そして本殿を挟んだ境内東側には、目黒富士浅間神社せんげんがあります。御祭神は鎮火や安産の神「木花咲耶姫命このはなさくやひめのみこと」。歌川広重の作品でも有名な目黒元富士の石祠や石碑が1878(明治11)年にこちらの境内に移され、浅間神社も末社として遷座せんしました。正面階段の西側には自然の崖を利用した富士浅間神社登山道が作られ、毎年7月1日には山開き神事と浅間神社例大祭が行われています。

正面の石段は1816(文化13)年に小松石で作られました。1905(明治38)年には神社前の大山道(現在の玉川通り)拡張のため、石段を改修。現在は歩道から54段と急勾配ですが、かつては玉川通りの中央付近までゆるやかな石段が続いていたそうです。



DATA

- Ⓧ 東急田園都市線「池尻大橋駅」徒歩約5分
- 🕒 常時
- 🏠 目黒区大橋2-16-21
- 📍 03(3)466(6)2507

ここに注目!

こちらでは氷川神社、浅間神社、稲荷神社の3種類の御朱印が頂けます。カワイイ桜のお守りも!



日本民藝館

日用品の中に美を見いだす「民芸」はここから広まった！



1936(昭和11)年10月に柳宗悦(1889~1961)と、陶芸家の濱田庄司やイギリス人の陶芸家バーナード・リーチら、その同志たちによる熱心な民芸品の蒐集と研究が、実業家の大原孫三郎のおおはらまごさぶろうの財政援助によって進められ、財団法人日本民藝館として誕生。柳宗悦が初代館長となりました。

建物は本館(木造瓦葺2階建)と倉庫(鉄筋2階建)、西館(木造瓦葺長屋門と木造瓦葺2階建主屋)からなっています。西館の長屋門は1880(明治13)年に栃木県国本村(現宇都宮市の郊外)に建てられたもので、大谷石で屋根を葺いた石屋根造りの建物で、1934(昭和9)年に柳宗悦が現在の場所に移築したものです。また本館は1936(昭和11)年建築で、棧瓦葺、漆喰塗り込めに大谷石を貼る建物で、造形の規範になっているとして、1999(平成11)年、長屋門と共に国の登録有形文化財となっています。

本館には12,000余点の収藏品の中から、陶磁器、織物、染物、木工、漆工、絵画、金工、竹、紙、革工芸、彫刻など約1,000点が展示されており、特に朝鮮李朝時代の各種工芸や沖縄の染織類、台湾高砂族の蕃布、英国中世の陶器などの蒐集に特色があります。

西館横には、阿彌陀種子板碑と呼ばれる高さ150cmほどの板碑が立っており、上部に阿弥陀如来を示す梵字が彫られています。下部には1262(弘長2)年の年号があり、現在区内にある板碑で最古のものとされますが、元々目黒にあったものではなく、埼玉県坂戸にあったものを石造文化財として移してきた展示資料です。

また、この財団は展示公開のみならず、民芸に関する調査研究や工人の指導、図書の刊行、講演会などを通して、新しい生活工芸品の創造発展を図る仕事もしています。

※1) 長屋門…武家屋敷で敷地の周囲に家臣を住まわせる長屋を建て、その建物の一部に扉をつけて門としたもの。

※2) 蕃布…台湾の先住民が織った、野生の芋麻を原料とする平織りの粗麻布の旧称。



DATA

- 📍 目黒区駒場4-3-33
- 🕒 03(3467)4527
- 🕒 10時~17時(最終入館は16時30分まで)
- 🕒 月曜(但し祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 👤 陳列替えなどに伴う臨時休館有り
- 🚶 京王井の頭線「駒場東大前駅」徒歩約7分

ここに注目!

「民藝」とは民衆的工芸の略で、柳らによる造語。



旧前田家本邸（洋館・和館）

加賀百万石大名の子孫のお屋敷（重要文化財建造物）



旧加賀藩主の系譜をひく第16代当主前田利為公の本邸は、関東大震災の復興計画に関連し、江戸時代より上屋敷を構えていた本郷から駒場へ移転しました。東京帝国大学と土地の等価交換[※]をした広大な敷地に築かれた駒場本邸は、現在もその規模と形状をよく留めています。洋館と和館が揃って現存しているのも数少ない例であり、近代上流階級の大邸宅の様子を今日に伝えていきます。2013(平成25)年に、駒場の本邸を構成する八棟(洋館、和館、洋館渡廊下、和館渡廊下、茶室待合、和館門及び堀、門衛所、正門および堀)とその敷地全体が「旧前田家本邸」の名称で国指定重要文化財となりました。

※等価交換…等しい価値を有するものを相互に交換すること。

【洋館】

1929(昭和4)年5月に竣工した建物で、設計者は東京帝国大学教授塚本靖^{※1}となっていますが、実際の設計は技師高橋貞太郎^{※2}が担当したものです。建物は地上3階、地下1階 建築面積は978.25㎡。鉄筋コンクリート造りで、外壁はスクラッチタイルを貼り、アクセントに大華石を使用。屋根は銅板葺で、建物の外観はイギリスチューダー様式^{※3}を基調とした豪華な造りとなっています。この洋館は、大正末期から昭和初期に建てられた大邸宅建築を代表するものの一つで、機能性を重視し、全館暖房設備や地下にあった調理室から1・2階へ料理を運ぶための小型荷物用エレベーターの設置など、当時における最新の技術を駆使しています。

1944(昭和19)年に民間会社を買収され、翌年の終戦後には連合軍に接收、米軍司令官の官邸として使用されました。返還後は敷地を含め公園として整備され、洋館は1967(昭和42)年4月から東京都近代文学博物館として活用されていましたが、2002(平成14)年に閉館し、2014(平成26)年から2016(平成28)年にかけて修理復原工事が行われ、建設当時の雰囲気がよみがえりました。現在は建物内部を一般公開しています。

ここに注目!

大正末期から昭和初期の最新建築技術を駆使して設計され、上流社会の生活をしのぶことができる貴重な文化財。



DATA

↑目黒区駒場4-3-55

【洋館】
◎ 03(3)4660-5150
④ 9時～15時30分
⑤ 月曜・火曜(但し祝祭日の場合は閉館)、
年末年始

◎ 京王井の頭線駒場東大前駅(徒歩約12分)

【和館】
◎ 03(3)4660-6725
④ 9時～16時
⑤ 月曜(但し祝祭日の場合はその翌日)、
年末年始

◎ 京王井の頭線駒場東大前駅(徒歩約8分)

- ※1) 塚本靖(1869～1937)…建築家。京城停車場本屋(ソウル駅旧駅舎)など。
- ※2) 高橋貞太郎(1892～1970)…建築家。上高地ホテル、川奈ホテルなど。
- ※3) イギリスチューダー様式…15～17世紀にかけて出来上がった英国の建築スタイル。レンガの煙突などが特徴。

【和館】

隣接の洋館と渡り廊下でつながっている和館は1930(昭和5)年に竣工。木造2階建、建築面積は355.47㎡で、2階に設けられた^{ろうかく}楼閣風の^{ほうぎょう}宝形の屋根の外観が特徴的です。設計は塚本靖や^{ささき}佐々木岩次郎^{いわじろう}※1(帝室技芸員)などによるもので、付設する茶室の設計は3代目^{きむらせい}木村清兵衛^{べえ}※2によるものです。洋館が前田家の家族の居住の場だったのに対して、和館はおもに迎賓の場として使用されていました。

内部は客間が中心で、1階の主室「御客間」は床の間、違い棚、付書院がある書院造り^{※3}で、鴨居の上の欄間には精緻な透かし彫りが施されています。次の間「御次之間」とは続き間となっており、周りを畳廊下や入側^{※4}、縁側で囲い、奥は茶室へと続いています。主室からは風雅な日本庭園を臨むことができ、かつて建物の東側には中国趣味の庭と煎茶室が設けられていたと伝えられています。2階の「御居間」も書院造りで、丸窓や市松の板張り^{ごうてんじょう}格天井^{※5}など、やや^{すきや}数寄屋風の要素が加わった造りとなっています。

- ※1) 佐々木岩次郎(1853～1936)…建築家。帝室技芸員。芝増上寺大殿建築などに参加。
- ※2) 3代目木村清兵衛(1871～1955)…数寄屋大工。芳次郎(3代)は茶屋建築で知られる。
- ※3) 書院造り…書院を建物の中心にした武家住宅の形式。
- ※4) 入側……座敷と縁側との間にある一間(約1.8m)幅の通路。
- ※5) 格天井……木を組んで格子形に仕上げた天井。

外観

旧前田家本邸の屋敷地は1967(昭和42)年、駒場公園として開園。敷地の全体配置は前田家が移住していた頃の姿を良く残し、正門から洋館玄関までの長いアプローチや洋館南の芝庭、和館の日本庭園は大邸宅にふさわしい造園計画だったといえます。



侯爵家の調度

駒場本邸の家具は^{ゆきのもときち}雪野元吉[※]が渡英し、イギリスに大使館附武官として駐在していた前田利為侯と打ち合わせた上でロンドンであつらえたものです。洋館の主な家具はイギリスの高級家具メーカーのハンプトン社で製作されました。

※雪野元吉(1897～1945)…建築家。東伏見宮邸、秩父宮邸など。

目黒行人坂大火の犠牲者を慰める石仏群

しょうりんざん 松林山大圓寺



目黒駅西口から伸びる急な行人坂の途中にあるお寺です。寛永の頃、出羽(現在の山形県)三山の一つ、湯殿山の修験僧たちが坂の途中にお堂を建て修行に励み、彼らを「行人」と呼んだことからその名前が付きましました。かつては江戸の町から目黒不動尊への参詣路として多くの江戸っ子たちが行き交いました。

大圓寺は17世紀前半(寛永年間)、大海法印が大日如来を祀って道場としたのがその始まりとされます。

釈迦堂には木造釈迦如来立像(国指定重要文化財)を安置。1193(建久4)年に高さ162cm余の等身大で作られました。境内には当寺が火元とされる1772(明和9)年2月の目黒行人坂大火の慰霊のために造られたといわれる「大圓寺石仏群」(都指定有形文化財)が残されています。大火は、当時の大圓寺本堂から出火、江戸の3分の1を焼き、多くの死者を出しました。今の目黒から北千住まで燃え広がり、その延焼距離の長さから明暦、丙寅と合わせて江戸三大大火の一つと呼ばれています。大火の様子は江戸中期の小説家・大田南畝(1749~1823)の「半日閑話」などにも紹介されています。この火事のため、大圓寺はその後76年間再建が許可されなかったそうです。その理由は、江戸城のやぐらまで燃えたためともいわれています。

本堂正面に安置されているのが「開運招福大黒天」です。徳川家康の指南役として一世を風靡した天海が、徳川家康公をモデルに彫ったといわれています。江戸



DATA

- 📍 目黒区下目黒1-8-15
- 🕒 03(3491)2793
- 🕒 8時~17時 (休)なし
- 🚶 JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約3分

ここに注目!

大圓寺石仏群の中にかくれキリシタンの痕跡? 石仏群の中に聖母マリアを連想される赤子を抱いた女性や、十字架の入ったしゃく杖を持つ羅漢像も見られます。石の色の違いが見つけるポイント!

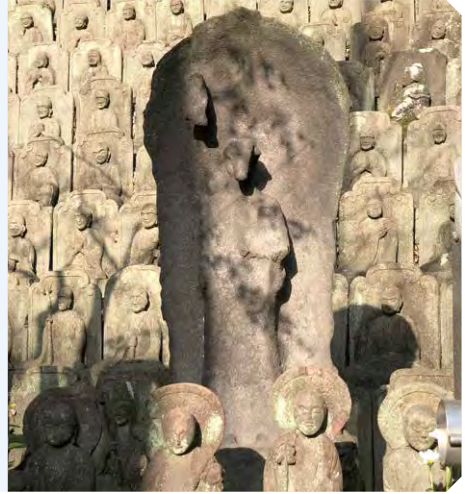


期に隆盛した山手七福神の一つとして信奉を集めました。一方、秘仏として釈迦堂に安置されているのが「大圓寺大黒天ちんこ」です。伝教大師作と伝わる、左右に弁財天と毘沙門天の顔を持つ三面大黒天で、江戸城の裏鬼門を鎮護するため、比叡山から勧請してお祀りしたといわれます。

また境内には貴重な江戸期の改修事業の資料が残されています。「行人坂敷石造道供養碑」(区指定有形文化財)は参詣道として賑わった行人坂の悪路に苦しむ人々を救おうと行者たちが目黒不動尊や浅草観音に参詣し、人々から受けた報謝を資金に坂の敷石を整備、安全を祈念したと伝えるもので1703(元禄16)年築。また「目黒川架橋供養勢至菩薩石像」(区指定有形文化財)は行人坂の上にある勢至堂内に安置されている像で、台座からの高さは約170cm。その台座には同じく参詣の行者たちが江戸市民の報謝を受け目黒川の両岸に太鼓橋を架けたことが記されており、1704(宝永元)年に作られました。念仏を唱え喜捨きしよを募り、行人坂改修、目黒川架橋などの事業を行った西運さいうんは、悲恋で有名な八百屋お七の相手・吉三きちざうが出家した僧といわれます。

とろけ地藏

溶けたような姿から名付けられた石仏ですが、大火で溶けた、あるいは江戸時代に漁師が品川沖で引き上げたことから浸食が進んでいたためともいわれます。悩み事をとろけさせてくれるとして信奉を集めています。



十一面観音像

本堂に安置されているこの観音像は藤原期(894~1167年)の作ともいわれ、高さ167.5cm。廃寺となった明王院に伝わっていたもので、江戸時代の公的出版物「新編武蔵風土記稿」に、明王院の寺宝として紹介されています。

3匹の蛸が支えるユニークな薬師如来

不老山成就院(蛸薬師)



本尊薬師如来

3匹の蛸に支えられる蓮華座に乗る薬師如来。
慈覚大師が帰国の際の故事にちなみ造られた
もので、秘仏のため非公開となっています。



お静地藏

2代将軍秀忠の側室、お静の方が我が子
である保科正之の米達を祈願し、大願成
就のお礼に奉納したもの。そのため子供
の健康・立身出世にご利益があるといわ
れます。



DATA

- 🏠 目黒区下目黒3-11-11
- 📞 03(3712)8942
- 🕒 9時〜16時30分 ㊟なし
- 📍 ② JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線
都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約10分、
東急目黒線「不動前駅」徒歩約7分

858(天安2)年、^{えんにん じかくだいし}円仁(慈覚大師)の開山。本尊は3匹の蛸に支えられた^{れんげざ}蓮華座に乗る、ユニークな薬師如来です。開山の慈覚大師が唐への留学から帰国の際、船が嵐に見舞われました。慈覚大師は身につけていた薬師如来を海に捧げたと、嵐は静まり無事帰国しました。その後、諸国を説法して巡っていると、肥前松浦の波間にタコに乗った仏像を見つけます。これは、慈覚大師が帰国の際に海に投じた薬師如来でした。この伝説から蛸薬師として人々の信仰を集めました。

また、このお寺では真言を唱えながら患部をなでると万病に効くという慈覚大師が唐から持ち帰った秘法「おなで石」のお守りがあります。

ここに注目!

本尊の秘仏である薬師如来は1月8日の^{ほつやくし えんにん}初薬師縁日にだけ御開帳となり、ガンやアトピーなど難病の^{へいゆ}平癒のために信仰されています。



霊雲山 蟠龍寺

江戸の裏鬼門「山手七福神」の弁財天をお祀りする寺



おしろい地蔵

このお地蔵様におしろいを塗り、その残りを自分の顔に塗ると美人になるとのいわれから女性や歌舞伎役者などに信奉されたお地蔵様。昭和の初めに浅草にあった欣浄寺から移されてきたとのこと。



岩屋弁天

本堂脇の岩屋内に祀られている石造りの弁財天像。江戸の人々が無病息災・商売繁盛などを祈願して広まった山手七福神の一つで、1832(天保3)年刊の「東都歳時記」にも紹介されています。



下目黒の山手通りから入った参道の奥にあるお寺で、季節の花を楽しめる小庭園はまさに喧騒を離れた別世界。江戸時代前期の1648(慶安元)年に開創。当初、目黒行人坂付近にありましたが、1709(宝永6)年江戸の裏鬼門を守る現在地に移転再建された際、「霊雲山称明院蟠龍寺」とされました。お寺は浄土宗ですが、修行者に厳しい戒律を定める律院であったことから参道右手には「不許辛肉酒入山門(しんにくしゅさんもんにはいるをゆるさず)」と彫られた結果石が残されています。

本尊は平安時代末期の作といわれる「木造阿弥陀如来坐像」(都指定有形文化財)。境内の最も奥に安置されるのが「山手七福神」の弁財天。岩屋の中には石造の、弁天堂内には木造の弁財天像が祀られています。弁財天を慕って芸術・芸能関係者の信奉が厚く、境内には寺院では珍しく音楽スタジオが設置されています。

ここに注目!

「江戸名所図会」には境内に金銅の阿弥陀如来像が描かれていますが、これは1871(明治4)年にフランスにわたり、現在はパリの市テェルニススキー美術館に所蔵されています。



DATA

- 📍 目黒区下目黒3-4-4
- 🕒 9時~17時 ㊟なし
- 🚶 都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約10分
- 🚶 JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約10分
- 📞 03(3712)6559

江戸っ子も夢中になった「元祖アーバンリゾート」

泰叡山瀧泉寺(目黒不動尊)



江戸時代、庶民の多くが参拝に訪れた目黒不動尊。特に正月の「七福神めぐり」では恵比寿神、1832(天保3)年刊の「東都歳時記」には大黒天も目黒不動尊境内に祀られていたとされ、大きな賑わいを見せました。現在は毎月28日の大縁日には、数多くの出店が並び、江戸の昔から続く賑わいを彷彿とさせます。

目黒不動尊は、五色不動(目黒・目白・目赤・目黄・目青)の一つとして江戸城の守護、江戸城の5つの方角の方難除けとして、また江戸を起点とする五街道を守護するスポットとして幕府に重視されていたといわれています。

また、関東最古の不動霊場で、日本三大不動の一つに挙げられています。開創は808(大同3)年に慈覚大師によるものとされ、大師が自ら筆をとった棟札の「大聖不動明王心身安養祝願成就瀧泉長久」から瀧泉寺と名付けられました。

訪れて最初に目に入るのが、仁王門の手前にある「比翼塚」。こちらには日本のロミオとジュリエットともいえる悲恋の物語が残されています。江戸時代、鳥取藩の武士、平井権八は、とあるもめ事から人を殺し江戸に逃れてきました。そこで出会った吉原の遊女、小紫にほれ込んでしまい、小紫に会うためのお金を得るため辻斬り、つまり強盗を繰り返しました。追われる身となった権八は後に、自首し処刑されます。これを知った小紫は遊郭を飛び出し、権八の墓前で後を追うように自らの命を絶ちました。ふたりを哀れみ、来世での幸せを願う人々によってこの塚は建てられました。

つぎに仁王門を通り抜け、男坂と女坂の間にあるのが「鷹居の松」。これは3代将軍家光が鷹狩に來た際、大切な鷹が行方不明になってしまい、鷹が無事に帰って来ることを願い目黒不動尊の僧に祈らせたところ、たちまち境内の松の木に戻ってきたことからこれを喜び「鷹居の松」と名付けました。このことをきっかけに家光は火災で焼失した建物を修復、荘厳な寺院に繁栄させました。当時の華麗な境内の様子は幕末の絵師・歌川国芳の「目黒不動之図」(1853年・国立国会図書館蔵)などに描かれています。



DATA

- 📍 目黒区下目黒3-20-26
- 🕒 03(3712)7549
- 🕒 9時〜17時
- 🚶 徒歩約12分
- 🚶 徒歩約20分
- 🚶 徒歩約12分
- 🚶 徒歩約20分

ここに注目!

目黒不動尊は江戸五色不動の一つ。目黒のほかには、目白(豊島区)、目赤(文京区)、目青(世田谷区)、目黄(台東区・江戸川区)。



男坂の左手にある湧水・独鈷の滝は慈覚大師がこの地に寺を建立する際に、敷地を示すために法具である独鈷を地面に突き立てたところ霊泉が湧き出したという言い伝えがあり、近年までこの滝の水を浴びて身を清める水垢離に使う人がいました。

独鈷の滝の左側にある滝泉寺前不動堂（都指定有形文化財）は、将軍や大名が参詣に来た場合、その間本堂に参詣できない庶民が使ったもので、内には本尊木造不動明王立像などが安置されています。

境内にはまだまだ見どころが多く、甘藷（サツマイモ）の栽培を全国に普及させ、大飢饉では多くの人を食糧難から救った青木昆陽がこの目黒の地を愛したことから、自ら「甘藷先生墓」と記した墓（国指定史跡）とその功績を称える顕彰碑があります。今でも墓前にサツマイモが供えられ、毎年10月28日の「昆陽先生報恩感謝法要（甘藷まつり）」が盛大に開催され、多くの人々に賑わいます。

「江戸名所図会」(1836/天保7年) に描かれた瀧泉寺

江戸後期に描かれた江戸の観光ガイドブックの元祖「江戸名所図会」では、本堂を中心に数多くの堂塔が立ち並び、この時期の瀧泉寺の威容を見ることができます。



歌川国芳の「目黒不動之図」 (1853/嘉永6年・国立国会図書館蔵)

歌川広重とともに幕末の目黒の姿を数多く残した絵師・歌川国芳。赤く大きな仁王門と本堂に続く石段、左手の独鈷の滝と思われる行場には水垢離をする人々も描かれています。

さんのおとりい 山王鳥居

お寺なのに鳥居が?と思われるかもしれませんが、かつての神仏習合の名残で鳥居の礎石だけが残っていたところに再建されたものです。その昔、麦打歌で「一に大鳥、二に不動、三に金毘羅」と歌われたほど目黒三社として賑わいました。



身近にあるのに意外と知らない寄生虫の未知なる世界へ

目黒寄生虫館



世界的にも珍しい、寄生虫学専門の研究博物館。寄生虫症がまだ国内でありふれた病気だった1953(昭和28)年、寄生虫学の研究と地域社会への啓発を目的として、医学博士の亀谷了(かめがいたる)(1909~2002)が私財を投じて創設しました。多くの寄生虫研究者から資料の寄贈を受けながら発展を続け、1993(平成5)年に現在の6階建てのビルが完成。今日では、家族連れ・カップル・修学旅行生・外国人観光客など、老若男女が訪れる人気の施設として知られています。

展示室は1階と2階で、国内外から集められた約300点の液浸標本や関連資料が並んでいます。パネルや動画、タッチパネル等を用いて、寄生虫について一から学べる博物館です。常設展示だけでなく、特別展示の開催や講演など、様々な活動を行っています。それだけの展示内容にも関わらず入館料を設けていないのは、亀谷の強い信念を受け継いだもの。しかし、博物館の基本財産のみの経営には限界があるので、積極的に寄付を募っています。

同名の公益財団法人が運営する目黒寄生虫館の事業は、展示だけではありません。日々の研究活動を通じて寄生虫学の発展に努めています。収蔵品は標本約60,000点、図書文献約16,000冊にのびります。なかでも寄生虫分類学に多くの業績を残した、医学博士・理学博士の山口左伸(やまぐちさちゅう)(1894~1976)と縁が深く、多数の資料が寄贈されました。これらは適切に管理され、館内外の研究に活用されています。

また、ガイドブックや定期刊行物を刊行しており、グッズや書籍類とともに、ミュージアムショップで購入できます。見学後もお家で寄生虫学に触れてみてはいかがでしょうか。

ここに注目!

LEDに照らされた標本瓶は壮観。多様な寄生虫の形をじっくりと観察することができます。



美術館
博物館

DATA

- 📍 目黒区下目黒4-1-1 ⑧ 03(3716)1264
- 🕒 10時~17時
- 🗓 月曜・火曜(但し祝休日の場合はその翌日・年末年始)
- 🚉 JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約12分、または東急バスで「大鳥神社前」下車徒歩約1分

目黒区最古の神社

おおとりじんじゃ 大鳥神社



まりしたんとろう 切支丹灯籠

さお石の部分に十字模様や像が刻まれ、これをキリストに見立てて崇拝したもので、もとは目黒村の肥前島原藩主松平主殿頭の下屋敷内にあったものとされています。



だいだいかぐら 太々神楽 「熊手の舞」

やまとたけるのみこと
日本武尊が現在の焼津市で火攻めにあった時、熊手をもって火を防ぎ九死に一生を得て賊を平定したという神徳をたたえる舞です。



DATA

📍 目黒区下目黒3-1-2
🕒 常時
🚶 徒歩約10分
🚇 JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線
都営地下鉄三田線「目黒駅」

目黒駅から目黒通りを西へ、山手通りと交わる角にある神社です。創建は平安時代初期の806(大同元)年で区内最古の神社です。祭神は日本武尊を主神とし、(にのともぢのひのみこと) 国常立尊と弟橘媛命を合祀しています。この神社は毎年ニュースにもなる西の市の市が有名で、毎年11月に開かれ多くの参拝客で賑わいます。その時に「熊手の舞」が舞われます。歴史も古く、境内には1835(天保6)年の西の市の市に神楽を奉納したことを記念する神楽塚があります。

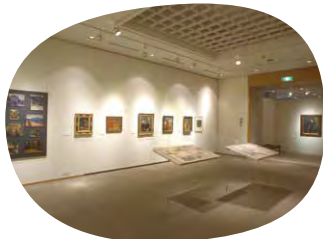
御神木の大き銀杏は昭和初期に目黒川の河川改修の際、切り倒されることになったものを熱心な町民運動により神社へ献木されたものです。空襲による戦火をも耐え抜いた奇跡の名木です。

ここに注目！

大鳥神社の「大鳥」は日本武尊が亡くなった際、魂が大きな白鳥になって飛び去ったとの逸話にちなんだ名前です。



近現代アートをもっともっと身近に楽しめ
目黒区美術館



所蔵作品

明治以降、日本人が海外に学んで制作した作品、特に作家が自己のスタイルを模索する過程から生まれた作品群や、目黒ゆかりの作家の作品などを中心に所蔵。天井まで届く鉄のオブジェが印象的で、美術館も一つの作品であるかのようです。

区民ギャラリー

ここは区民の方はもちろん、区民以外の方にも作品発表の場として貸し出している有料のスペースです。地下1階にA面とB面の展示室があり、絵画、彫刻、書、工芸、立体、映像など美術に関するものを展示することができます。



DATA

📍 目黒区目黒2-4-36 ⑩03(3714)1201
🕒 10時～18時(最終入館は17時30分まで)
🌙 月曜(但し祝休日の場合はその翌日)・年末年始12/28～1/4(展示替期間)
🚶 JR山手線・東急目黒線・東京メトロ有楽町線
都営地下鉄三田線「目黒駅」徒歩約10分
東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒駅」徒歩約20分

緑豊かな目黒区民センターの一角に1987(昭和62)年に開館した美術館です。地域の人々との密接な関わりを重視しながら「幅広い視野からとらえた様々な美術作品」を紹介しています。近現代の日本の作家における美術作品や目黒区にゆかりの深い作品などを所蔵作品展で公開するほか、内外の多様な美術の動向をとらえた企画展を積極的に開催しています。

現在美術館のコレクションは約250名の作家、2,000点以上の作品です。生活の中の美や、作品の成り立ちと素材・技法に目を向けるワークショップも好評で、展示と体験活動を融合させる新たな試みとして注目されています。また、本館エントランスにあるミュージアムショップも人気で、目黒区美術館のコレクションをテーマにしたオリジナルグッズや展覧会関連グッズ、雑貨、お子様向けのおもちゃなどが購入できます。

ここに注目!

洗練された空間の中、近現代アートを中心に数々のコレクションを展示。草間彌生や東山魁夷の作品も所蔵しています。





外観



五百羅漢坐像

目黒不動尊の北東に位置するお寺で、300体を越える五百羅漢坐像が有名です。羅漢とはお釈迦様の弟子のことで実在した人物といわれ、五百羅漢はお釈迦様が亡くなったときに集まった500人の弟子がモデルとされています。

一見お寺とは思えない、新しい博物館を思わせるアーチ状の山門をくぐると、境内にみえる現在のお堂は1981(昭和56)年に建てられたものです。1695(元禄8)年本所五ツ目(現在の江東区)に創建。徳川5代將軍綱吉、さらに8代將軍吉宗の援助を得て「本所のらんかんさん」として江戸の人々から親しまれ、繁栄を遂げますが、その後、廃仏毀釈などにより移転、目黒に落ち着いたのは1908(明治41)年になります。一時無住となりましたが、新たな買主により再興され今に続いています。

階段を登り寺務所の前を通ると広場があり、右手に続く建物が有名な羅漢堂です。現在305体が安置されている五百羅漢坐像は、京都出身の禅師・松雲元慶(1648~1710)が出家後全国遊行した際、現在の大分県の耶馬溪にある羅漢寺で見た羅漢像に触発されて五百羅漢像を自分で彫刻しようと誓い、江戸浅草で着工、多数の人々の寄付を得て、十余年を費やしひとりで釈迦三尊像以下536体の羅漢像を完成しました。これを安置するために幕府の援助も得て建てたのが本寺です。羅漢像は一体ごとに表情が異なりそれぞれにお言葉がつけられています。また、羅漢像の中にある病を払う神獣「猿王像」(白澤)は必見。アマビエと同じく病魔を防ぐ力があるといわれ、昔から流行り病のときには多くの人が白澤の絵をお守りとして飾りました。

羅漢堂左手建物内部にあるのが「聖宝殿」。元禄当時の羅漢像造立のための寄進帳や寺内の合図に使った大きな魚板など江戸から続く歴史資料を多数展示、五百羅漢寺と人々のつながりを示すものばかりです。特に浮世絵に描かれる当時の五百羅漢寺は注目です。本所での創建当時の境内には螺旋状に階段を登りつつ堂内の諸仏を参拝できる建物があり、これがとても評判で、この建物は現存しませんが、葛飾北斎が「富嶽三十六景」に描いており当時の寺の姿を知ることができます。

境内一番奥に位置する本堂には本尊の釈迦如来像が羅漢さんたちと一緒に祀られており、お釈迦様が説法されている光景が再現されています。

ここに注目!

境内には会席料理を楽しめるらんかん亭と、ランチや喫茶を楽しめるらんかん茶屋があり休憩にはもってこい!山門に入って右手の建物内です。



てんおんざん
天恩山 五百羅漢寺 (羅漢寺)

様々な表情をもつ300体あまりの羅漢像が圧巻



DATA

- ▲ 目黒区下目黒3-20-11 ⑧ 03(3)79(2)6751
- ⌚ 9時~17時(最終拝観受付は16時30分まで) ⑨ なし
- ⊗ JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線
- 都営地下鉄三田線・目黒駅 徒歩約12分
- 東急目黒線「不動前駅」徒歩約8分

目黒区古道マップ

たぎさかみち

① 滝坂道

現在の「淡島通り」で、赤坂から甲州街道へ抜ける街道として使われた古道です。起点は大山道と同じ、現在の道玄坂上交番のあたりで分岐し、世田谷を経由、仙川で甲州街道と合流していました。松見坂近く空川には明治時代のレンガ造りの橋「遠江橋」が架かっていたそうです。

かまくらみち

③ 鎌倉道

鎌倉時代、関東の武士が鎌倉に集結するルートを「鎌倉道」といいました。目黒には2本の鎌倉道があったとされ、代官山から目切坂を下るまでは共通、その後宿山橋南端より西行するルートと南下するルートに分かれたようです。

ふたこみち

④ 二子道

現在の目黒通りでほぼ現在と同じルート。長い年月の中で大きく変わりましたが、区内で2箇所、古道の面影をたどることができます。一つは目黒郵便局のバス停あたりから目黒通りを外れ(中央町1丁目と鷹番1丁目の境)、弓形に曲がって目黒通りに戻る道。もう一つは都立大学駅の北側(柿の木坂歩道橋のあたり)から西へ進み、八雲氷川神社の前で南に曲がり、氷川坂を渡って目黒通りに戻る道が旧道のルートを残しています。

おおやまみち

② 大山道

大山道は神奈川県の大山阿夫利神社を詣でる「大山詣で」の参詣者が利用した道で、現在の玉川通り。赤坂見附より道玄坂を経由、上目黒氷川神社の前を通り、現在東京ICのある用賀から二子で多摩川を渡っていました。区内の旧道の大坂は、大山道でも有数の急坂でした。

しながわみち

⑤ 品川道

目黒区内から品川方面へ伸びていた古道で、戸越村を抜けて品川宿へ続いていたため「品川道」と呼ばれていました。現在の「平和通り」と呼ばれる道で、圓融寺(法華寺)から東へ延びる目黒本町4丁目と6丁目の境の道になります。

参考文献:目黒区教育委員会

「めぐろの文化財 増補改訂版III」より



郷さくら美術館

一年を通じて満開の桜を大画面の日本画で楽しめる美術館



コレクション ▲中島千波「櫻雲の目黒川」2013年

「一年を通じて満開の桜を日本画で楽しんで頂く」というコンセプトに基づく美術館。展示室は4室あり、常設展示のほかにも、企画展や展覧会が一年に4、5回開催されています。

外観

目黒川の自然景観とマッチする美術館の外観は、有孔タイルの持つ光と空気の流れを大切に洗練されたデザインが印象的です。2012年にはグッドデザイン賞を受賞しました。

桜の季節には大勢の花見客で賑わう目黒川のほとりに、現代日本画の専門美術館として、2012(平成24)年3月に中目黒に東京館として開館。展覧会ごとにテーマを設定した「コレクション展」という形式で収蔵作品を一般公開しています。特に昭和以降生まれの日本画家の作品を中心に現代日本画の魅力に触れられる場として、さらに活躍中の日本画家の支援活動を目的に誕生しました。

展示室には毎回40点余りの作品が展示されており、繊細な日本画を親密な空間で楽しめるような展示が心掛けられています。また、「一年を通じて満開の桜を日本画で楽しめる」というコンセプトに基づき、桜がモチーフの屏風作品を含めた50号以上の大作十数点を常設する展示室を設けており、大画面の現代日本画による雅やかで華やかに展開する桜の空間を堪能することができます。

ここに注目!

桜をモチーフにしたオリジナルグッズを買うことができます。



DATA

- ▲ 目黒区上目黒1-7-13
- 📞 03(3496)1771
- 🕒 10時~18時(最終入館は17時30分まで)
- 🌙 月曜(但し祝休日の場合はその翌日)、
年末年始、展示替え期間
- 📍 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒駅」徒歩約5分

多数の寺宝が物語る江戸の町人文化

明顕山 祐天寺

みょうけんざん ゆうてんじ



東急東横線の駅名にもなっている祐天寺は1718(享保3)年、同年に亡くなった祐天上人の遺言である「念仏道場を建てて欲しい」という願いにより、その高弟の祐海上人が開創。

賑やかな駒沢通りから国登録有形文化財の表門を入ると一転して静かな境内。正面の仁王門(区指定有形文化財)は1735(享保20)年、5代將軍綱吉の養女・竹姫寄進のもの。細かな絵様なども大きな変更もなく創建当初の姿を伝えています。彫刻が有名で、^{かえるまた}蟻股^{※1}にあるのは方位を示している十二支。中央部の内側には正面に^{きりん}麒麟^{※2}、背面に^{かいば}海馬の二神獣が彫られています。両側の仁王像は高さ約2.6mの^{あぎょう うんぎょう}阿形と吽形の2体で、本堂の木造祐海上人坐像(区指定有形文化財)も手がけた大仏師・^{たけざい}竹崎石見の作と伝われます。

仁王門右手にある「かさね塚」は歌舞伎舞踊「^{いろもよう}色彩間 苺豆」にちなんだものです。^{しもぎのくに}下総国(現在の茨城県)に、百姓の夫婦がおり、妻には「助」という醜い顔の男子の連れ子がおり、夫は「助」の醜さを疎ましく思ったため、妻が川に突き落とし死なせたそうです。その後生まれた女子「累」は「助」の生き写しだったため村人は因果を感じて累を「かさね」と呼びました。時は移り累は流れ者の与右衛門を婿に迎えました。醜さを疎ましく思った与右衛門に殺されてしまいます。後妻に入った女も次々に亡くなり、6人目の女が産んだ「^{きく}菊」にある日異変が起こり、与右衛門に自分は以前殺された累である旨を告げ、菊を苦しめました。

困った村人は近くの寺の修行僧に除霊をお願いします。僧は念仏と戒名を授け累を成仏させました。すると今度は助が現れて菊を苦しめるので、古老の話を聞きつつこちらにも念仏と戒名を授けて成仏させると漸く菊は正気を取り戻した、とのことで、その僧が祐天上人だったとの伝説が残されています。この物語は江戸時代に広く世間に知れ渡り、怪談噺や映画の題材としても度々取り上げられています。境内の仏舎利殿にある「かさね大絵馬」はかさね塚建立60周年の1986(昭和61)年に制作されたものです。



DATA

- 🏠 目黒区中目黒5-24-53
- 🕒 常時
- 🚶 徒歩約8分
- 📞 03(3712)0819

仁王門を抜けて本堂前から左手の墓地の中心にあるのが、祐天上人墓(都指定文化財旧跡)。台石には祐天上人の略歴と祐天寺開創の由来が書かれています。国登録有形文化財の本堂には木造の祐天上人坐像(都指定有形文化財)と祐海上人坐像が安置されています。

本堂前の賽銭箱に注目してみましょう。当寺は江戸の町火消にゆかりの寺として知られています。これは一説によると祐天上人が、増上寺の住職であったころ火消し組織を確立し、これが江戸の町火消しの原型となったことに由来すると伝えられています。ほかにも地藏堂内の格天井^{※3}など、お寺のあちこちに纏^{※4}を見つけることができます。

また、当寺は目黒不動尊と並んで將軍の鷹狩の御膳所^{※5}として使われるなど、將軍家と関係のある寺として栄えてきた歴史があります。本堂は1894(明治27)年の火災後、1898(同31)年に本堂後方に建立されていた徳川將軍家代々の御霊殿を曳き移し、本堂の一部としました。堂内に徳川家の葵紋付きの唐破風が遺っているのはそのためです。

※1) 臺股……横木に設置し、荷重を分散して支えるために、下側が広がっている部材。

※2) 麒麟……中国神話に現れる伝説上の動物で泰平の世に現れるという。

※3) 格天井……木を組んで格子形に仕上げた天井。

※4) 纏……(町)火消の組のしるしで、さおの先に飾りをつけたもの。

※5) 御膳所……鷹狩のおり、將軍が休息と食事をする場所。

かさね塚

1926(大正15)年に建てられた累の供養碑。江戸時代以降広く話が知られ「累物」と呼ばれる歌舞伎作品や落語の怪談「真景累ヶ淵」、映画に取り上げられました。供養と安全祈願に歌舞伎役者などが公演前にお参りしています。



祐天寺海難供養碑

(左:灘目の海難供養碑、右:白子組の海難供養碑)

江戸時代に「灘の樽回船」と江戸の木綿問屋仲間「白子組」の回船が度々沈没し、その遭難者の慰霊のために建てられた供養碑。その碑文からは当時の度重なる海難の事実を知ることができます(区指定有形文化財)。

ここに注目!

阿弥陀堂には享保の上棟時、1854(嘉永7)年および1932(昭和7)年の計3枚の棟札^{むねふだ}が小屋裏に残されており、創建時の姿を「技術のリレー」によって現在に伝えています。

※棟札…寺社・民家など建物の建築・修築の記録・記念として、棟木・梁など建物内部の高所に取り付けた札。



母の想いを今に伝える仙台・伊達家ゆかりの寺

実相山正覚寺



写真：岡庭璃子（株式会社日本デザインセンター）

中目黒駅から山手通りを南へ。駒沢通りと交わる角のお寺です。重厚な山門をくぐると広々とした境内が広がります。境内で最初に目につくのは、鐘楼の横にある3mを超える和装の美しい三沢初子の像です。

初子は仙台藩伊達家3代目藩主綱宗の側室、浅岡の局で4代目藩主綱村の母です。夫である綱宗は、その素行の悪さにより幕府から強制的に隠居をさせられてしまい、その後を継いだのは綱宗と初子の子である亀千代でした。亀千代はわずか2歳で4代目藩主綱村となりました。初子は幼くして藩主となったわが子を想い、その身の安全を鬼子母神像に願いました。

この母の想いは叶い、綱村は権力闘争であるいわゆる「伊達騒動」も乗り越え、後に名君と呼ばれるほど立派に成長しました。お寺にある三沢初子像や、初子が祈念した鬼子母神像は、今も昔も変わらない母が子を想う気持ちを伝えています。初子が亡くなった後、伊達家下屋敷にあった初子の邸宅が寄進され、その部材を使用した本堂や鬼子母神堂などに伊達家の家紋を見ることができます。

本堂の左手、アーチ状の入口を入った墓地に初子のお墓（都指定文化財旧跡）があり、子である4代目藩主綱村も母を弔うため寺に特別な保護を与えたことから、正覚寺は仙台藩伊達家と関わりの深い寺となっています。なお正覚寺は1619(元和5)年、日栄上人により開山された日蓮宗のお寺で、2019(令和元)年に400周年を迎えました。



DATA

- 📍 目黒区中目黒3-1-16
 - 📞 03(3712)6799
 - 🕒 常時
 - 🚶 徒歩約5分
- Ⓜ 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒駅」

ここに注目！

世界三大荒行に挙げられる日蓮宗の修行を達成しないと
できない木剣加持というご祈祷が受けられます！



中目黒八幡神社

秋の例大祭で「江戸の里神楽」が奉納される旧中目黒村の鎮守



例大祭神楽奉納

毎年9月第四土・日曜日に開催される例大祭で、土曜日の宵宮にて稚児舞「浦安の舞」が奉納されます。翌日日曜に「江戸の里神楽」が奉納され、合わせてお神輿が周辺を練りまわる神輿渡御が行われます。



さざれ石

参道石段の左側にあるのが国歌にも歌われる「さざれ石」。1996(平成8)年に本殿の昭和造営60周年を記念して置かれました。記念碑の文字は秩父のパワースポットで当社とゆかりのある宝登山神社の当時の宮司さんによるものです。



DATA

- ▲ 目黒区中目黒3-10-5
- ④ 03(3712)5507
- ⌚ 常時
- Ⓜ なし
- 📍 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒駅」徒歩約9分

ここに注目！

中目黒にありながら都会の喧騒を忘れる自然豊かな境内。なんと野生のタヌキが参拝に来ることも！



熊野三山ゆかりの神社は「縁結び」の利益でも有名

自由が丘熊野神社



目黒ばやし（区指定無形民俗文化財）

百数十年の歴史をもつこのお囃子は、江戸の祭囃子の本流というべき神田囃子のリズムや旋律を忠実に伝え、技術練磨に励む人々の創意工夫によって目黒独特の郷土色が織り込まれた貴重な民俗芸能です。現在3つの認定された保存会により熊野神社、碑文谷八幡宮、八雲氷川神社の例大祭などで演奏されています。

自由が丘の祖、栗山久次郎翁の像

1889(明治22)年に市制町村制によって碑文谷村と衾村が合併して碑衾村が成立しました。同年に発足した碑衾村の村長を20年に渡り務める事になったのが栗山久次郎。自由が丘の祖とも云える人物で、現在も当社境内に栗山久次郎の銅像や顕彰碑が建っています。



DATA

- ④ 目黒区自由が丘1-24-12
- ④ 03(3717)7720
- ④ 常時
- ④ なし
- ④ 東急東横線・東急大井町線「自由が丘駅」徒歩約3分

自由が丘の旧地名である谷畑地域の鎮守で、伊弉冉尊・速玉之男尊・よもつとこまのおのみこと 泉津事解之男尊を祭神とし、「谷畑の権現さま」として親しまれてきました。中世から近世にかけて熊野信仰*が高まったことから、熊野本宮の御神霊を拝受して祀られたと思われる、創建は不詳ですが鎌倉時代以前と伝えられています。

現在の本殿は1909(明治42)年、拝殿は1967(昭和42)年の改築で、境内に建つ赤鳥居は1823(文政6)年のものです。本殿の上部に隠れハートのモチーフがあることから「縁結びの神様」として人気になっています。また、社殿右側には倉稻魂命を祀る農業の神さま「伏見稻荷」や、自由が丘の祖である栗山久次郎翁の像もあります。

毎年9月の例大祭には、神楽殿で区指定無形民俗文化財の「目黒ばやし」が奉納されています。

*熊野信仰…和歌山県の熊野三山に対する信仰。平安から鎌倉時代に流行した。

ここに注目!

世界文化遺産熊野本宮に起源をもつ「谷畑の権現さま」。縁結びの神様として人気です。

八雲氷川神社

古くから多くの人たちに信仰されている「癩封じの神様」



アカガシの巨大な株

癩封じの御神木のアカガシ。癩封じの御利益があるとして信仰を集め、煎じて薬にしようとアカガシの皮を剥ぐ参詣者が跡をたななかったため、枯死してしまつたと伝えられています。現在は枯れてしまいましたが、社殿の裏に巨大な株が祀られています。



子を抱いた狛犬

境内には絵馬堂や子を抱いた一対の狛犬、天邪鬼が四隅を担いでいる水鉢などがあります。



DATA

- 📍 目黒区八雲2-4-16
- 📞 03(3717)1601
- 🕒 常時 ⑧なし
- 🚶 東急東横線「都立大学駅」徒歩約5分

ふすむら 衾村の鎮守で、祭神は素盞鳴尊、稲田姫命、大己貴命。創建の年代は不詳ですが、1757(宝暦7)年に「鎮守氷川宮」の鳥居が建立されたことや1787(天明7)年の「鎮守 氷川宮御宮」の建築について記された文書が残されています。

古くから「癩封じの神」として広く信仰され、遠くからも参詣人がつめかけたといわれています。「癩」とは腹部などの痛みのことで、神木のアカガシの皮を煎じて飲むと効くといわれましたが、今は枯木の株が現存するのみです。また、境内には絵馬堂や子を抱いた一対の狛犬、天邪鬼が四隅を担いでいる水鉢などもあります。

9月の祭礼には、神楽殿で素盞鳴尊の八岐の大蛇退治の物語を表した古式豊かな「剣の舞」が奉納されます。

ここに注目!

癩封じの御利益があるとして信仰を集め、今なお多くの参拝者が訪れる八雲の鎮守様です。

彫刻芸術を身近な存在として鑑賞し楽しむことができます！

現代彫刻美術館



外観



展示場

20世紀後半以降の日本の彫刻家たちがどのような作品を創造したのか記録すると同時に、若い彫刻家たちに作品展示の場を提供したいとの思いと、少しでも多くの方々に彫刻の素晴らしさに触れ、楽しんでいただけるようお願いを込めて浄土宗寺院である長泉院の教化事業の一環として開館された彫刻専門の美術館です。この寺院隣接地を美術館専用の敷地として計画し、1978(昭和53)年5月に第1、第2野外展示場が開設、1982(昭和58)年3月には、本館建物が完成しました。さらに1987(昭和62)年7月に第3野外展示場を、2003(平成15)年9月には野外企画専用の第4展示場が増設されました。

閑静な住宅街の中に、上空から見ると六角形を組み合わせたようなグレーにマ호가ニーレッドの御影石貼りのモダンで印象的な本館を囲むように野外に4つの展示場があり、20世紀後半以降の日本の彫刻家による作品を鑑賞することができます。

本館と野外展示場には、1960年から2015年までの制作年を中心に、舟越保武^{※1}、朝倉響子^{※2}、舟越桂^{※3}、空充秋^{※4}、田中毅^{※5}、菅原二郎^{※6}、堀口泰造^{※7}、峯田敏郎^{※8}、鈴木武右衛門^{※9}、川崎普照^{※10}、三木俊治^{※11}ら、国内を代表する作家156名から新進気鋭の作家の企画展示など、約200数十点の個性あふれる作品が展示されています。

高峰山長泉院は、浄土宗の刷新のために律院^{※12}として1761(宝暦11)年に建てられたものです。当時、この寺は「新寺」と呼ばれていたことから、今も「しんでら」という呼称が残っています。増上寺第45世の大玄和尚が豪商北川保久仙らの協力を得て開山し、1767(明和4)年に本堂と庫裏、鐘楼などを新築、その後、1789(寛政元)年には寺域を拡張して大きく発展。その頃より境内は目黒川右岸の台地にひろがり、古木が茂り、斜面には堂塔が整いました。常行念仏の道場にふさわしく「江戸名所図会」にもその様子が描かれています。

- ※1) 舟越保武(1912～2002)…東京芸術大学名誉教授。「たつ子像」(田沢湖畔)など。
- ※2) 朝倉響子(1925～2016)…彫刻家・朝倉文夫の次女。「WOMAN」(町田駅北口)など。
- ※3) 舟越桂(1951～)…神秘的で繊細な表情の半身像が印象深い。
- ※4) 空充秋(1933～)…石のスピーカーは1964年の東京五輪で選手村に展示。
- ※5) 田中毅(1951～)…ポップでユーモアあふれる作品。
- ※6) 菅原二郎(1941～)…大阪芸術大学名誉教授。二科会彫刻部代表。
- ※7) 堀口泰造(1916～)…抑留体験からの虜囚の像で知られる。
- ※8) 峯田敏郎(1937～)…ロダン大賞展彫刻の森美術館ほか多数。
- ※9) 鈴木武右衛門(1949～2014)…古代ギリシアの大理石彫刻を思わせる秀作多数。
- ※10) 川崎普照(1931～)…1998年「大地」で日本芸術院賞受賞。
- ※11) 三木俊治(1945～)…行列する人々をモチーフにした蠟型彫刻で知られる。
- ※12) 律院…戒律を遵守するものの住する寺院の呼称。



DATA

- ↑ 目黒区中目黒4-12-18
- ⌚ 10時～17時(最終入館は16時30分まで)
- 🌙 月曜(但し祝休日の場合はその翌日)
- 🚶 東急東横線「祐天寺駅」徒歩約16分
- 📞 03(3792)5858

ここに注目！

写真映える野外展示場はファッションショーの会場として利用されたことも。



「碑文谷」の地名の由来がここに！

碑文谷八幡宮



碑文谷の地名の由来とされる碑文石

縁に囲まれた社殿の横に正面ガラス張りの小さな保存庫に納められている社宝の「碑文石」。「碑文の彫った石のある里(谷)」ということから碑文谷の地名の起源をなすものともいわれています。



勝海舟直筆の幟

碑文谷八幡宮には社宝が3点あり、「碑文谷の地名の起源をなす碑文石」のほかにも、勝海舟直筆の「八幡大神」の額、「奉獻八幡満津里氏子中」と書かれた幟が所蔵されています。

旧碑文谷村の鎮守で、祭神は応神天皇です。鎌倉時代に源頼朝の重臣だった畠山重忠(1164~1205)の守護神を、碑文谷村の宮野左近がここに祀ったのが起源だと伝えられています。社殿は1674(延宝2)年に建てられたもので、その後1872(明治5)年に再建され、1887(明治20)年に改築されました。社殿の右側には重忠の臣、榛沢六郎を祀った稲荷社があり、また碑文谷の地名の由来とされる梵字※を刻んだ「碑文石」が保存されています。

玉垣と緑豊かな木々に囲まれた境内には、目黒区の保存樹林第一号に指定された大樹が茂っており、春には一の鳥居から二の鳥居まで、参道の両側の桜が見事な花のトンネルをつくることでも知られています。また、多くの露店が並ぶ9月の秋季例大祭は賑わいを見せます。

※梵字…古代インド語を表す文字のことで、梵語(サンスクリット語)を書き表す際に用いた文字。



DATA

- ▲ 目黒区碑文谷3-7-13
- ☎ 03(3717)6412
- ⌚ 常時
- 🚶 徒歩約15分
- 🚗 東急東横線「学芸大学駅」

ここに注目！

「碑文谷」という地名の起こりに2つの説!? 板碑の多い谷(里)という説も合わせて楽しみたい!

時代を越えた職人のリレーが受け継ぐ建築美

経王山圓融寺

きょうおうさんえんゆうじ



23区内で現存する最古の木造建築である本堂（国指定重要文化財）の美しさで知られるお寺です。重厚な山門を入ると正面に仁王門（区指定有形文化財）、本堂奥の阿弥陀堂前にはお釈迦様が悟りを開かれた菩提樹の木があります。また春には桜が境内を彩ります。853（仁寿3）年、慈覚大師の開基。本堂は室町時代の建物で唐様建築に和様を取り入れた単層入母屋造りで、屋根の起破風が美しいカーブを描いており、職人技を感じます。

この本堂には職人の粋な心意気を伝えるエピソードがあります。それは、戦後間もない頃、圓融寺の本堂（釈迦堂）は約十年かけて大規模な復原修理が行なわれました。その際に屋根裏の一番奥の柱に創建時に刻まれたとされる文字が発見されました。そこには「我が手よし 人見よ」というたった一言で、人名も年号もありませんでした。その発見から三十年ほどたったある日、復原修理の棟梁が訪れ、住職に「実は釈迦堂の屋根裏には、もう一つ文字が刻まれている」と語りました。住職は「そんな報告はありませんでしたが?」と、よくよく聞いてみると「実はわたしの仕業です」とまさかの告白。「我が手よし 人見よ」の文字を見た瞬間、どうしても衝動に駆られて自分からの返事をしなければならないと思ったそうです。「で、なんと彫ったのですか?」と住職がたずねると「その手よし 我は見たり」と答えたそうです。

室町時代に本堂を建てた棟梁と、復原修理を行なった棟梁の六百年以上もの時を超えた対話が、修復後三十年経ってようやく私たちの知るところとなった瞬間でした。

ここに注目!

江戸時代に空前のブームとなった黒仁王。これを題材にした文学作品は多く、特に黄表紙といわれる現在でいう大人向けの漫画に江戸庶民の姿が描かれています。



DATA

- 📍 目黒区碑文谷1-22-22
- 📞 03(3712)2098
- 🕒 常時
- 🚶 徒歩約15分

宮野古民家自然園

江戸時代からの面影が色濃く残る緑豊かな古民家園



宮野家の主屋とその周辺環境を保全し、地域文化の高まりに寄与することを目的に、1995(平成7)年5月に開園した自然園です。園内に残る宮野家主屋(区指定有形文化財)は創建以来、主要構造部の改築や移築はなく、当時の姿を今日に伝える貴重な建造物だとされています。

主屋建物の南面には庭があり、^{いりもや}入母屋造りの主屋を中心に、独立した民具展示室や五右衛門風呂とかまどを配した離れ、茶室、^{ほこら}祠などが点在しています。往時の^{かやぶき}茅葺だけは^{どうばんがき}銅板葺に改められ、その葺き替えの際に化粧隅木^{すみき}*1と化粧垂木^{たるき}*2が新たに付け加えられました。

主屋の間取りは四ツ間取り型からなっており、畳敷きや板敷で構成されている東側部分も当時は土間であったことが、その痕跡からうかがうことができます。主屋が建てられたのは、江戸時代中後期の寛政期(1789~1801年)以前と考えられており、現在の居間や台所に10畳の規模を置き、その桁行き間の割り付けは寸方で2.5間を2つ割りにするなど、当時の新しい設計技術を使って設計されています。その一方で大黒柱級の太い柱材を梁行き方向に三本並べるなど、昔ながらの広間型の平面における柱配置を残しており、新旧の建築技術が見事に混在しているのも特徴です。

主屋建築と前後して植えられた屋敷林の本数は約200本で、往時の原型をとどめる屋敷林は敷地の四方に、幅員5~10m、樹高が15m以上のものが30本ほどあり、現存する大木の状態から、およそ200年前後存続しているようです。

※1) 化粧隅木…軒を見上げた時、隅に斜めに見える部材。

※2) 化粧垂木…軒裏や屋根裏などに用いられる美しく仕上げられた垂木。



DATA

- ▲ 目黒区原町2-5-8
- 🕒 03(3712)0100
- 🕒 10時~16時(最終入園は15時30分まで)
- 🕒 月・火曜(但し祝祭日の場合はその翌日)
- 🕒 8/8、8/17、12/26、1/16
- 📍 東急目黒線「洗足駅」徒歩約5分

ここに注目!

武蔵野の原風景をとどめており、江戸時代から近代にかけての建築技術が残る貴重な宮野家のお屋敷です。



神社・お寺の参拝マナー

神社参拝方法

- 1 一礼して鳥居をくぐります。**

鳥居は俗界と神様の領域の境目を示します。敬意を表し一礼しましょう。参道上に複数の鳥居がある神社があります。その場合は、段階を踏み神聖な領域に近づく意味があるので、一の鳥居から順番にくぐります。
- 2 参道の中央を避けて歩きます。**

参道中央は「正中」と呼ばれる神様の通り道です。人は正中を避けて左右の端を歩くのが基本です。混雑している場合は、各神社の誘導や人の流れに従いましょう。
- 3 手水舎で心身を淨めます。***

柄杓を使い左手、右手の順に淨めた後、左手に水を受けて口をすすぎます。最後に柄杓を立て柄を洗い淨め元に戻します。
※新型コロナウイルス感染防止対策として、柄杓を置いていない所もあります。
- 4 賽銭を入れ鈴を鳴らします。**

賽銭は神様へささげるものです。腰の高さまで手を下ろしてそっと入れましょう。賽銭箱が遠くても乱暴に投げてはいけません。鈴がある神社では賽銭を入れた後に鳴らします。
- 5 二拝二拍手一拝します。**

まず本殿・拝殿を向き、深く二回お辞儀をします。次に、胸の高さで左手を右手より数センチ上に出して合わせ、二回拍手をします。その後指先をそろえます。このとき、神様への感謝と祈願の言葉をお伝えしましょう。祈願を聞いてもらった感謝を示すために、一回深くお辞儀をします。

お寺参拝方法

- 1 山門で拝礼します。**

山門は、悟りの領域である仏殿の入口です。お辞儀をしてくぐるのが良いでしょう。左右の山門に仁王像が安置されている場合は、両方の像に対して手を合わせるとなお良いです。寺の参道はどこを通っても構いません。
- 2 手水舎で心身を淨めます。**

基本的には神社の作法と同様です。手水舎は寺によっては無いところもあります。その場合は本堂に進みましょう。
- 3 常香炉があれば煙で体を淨めます。**

常香炉は仏様にお香を供え、その煙を浴びることにより心身を淨める場です。身体の悪い箇所につけると治るともいわれます。煙とともに欲を払い、清らかな気持ちで本堂へ進みましょう。
- 4 本尊の前に立ち、賽銭を入れます。**

寺での賽銭はお布施に当たります。欲や執着を捨てる修行の一つとされています。手を賽銭箱に近づけ、そっと賽銭を入れましょう。
- 5 静かに合掌します。**

鈴があれば鳴らし、静かに両手を合わせます。手を合わせたまま深くお辞儀をしましょう。
- 6 最後にお辞儀をする**

参拝して功徳くどくをつませていただいたことに対する感謝の気持ちを込めて、お辞儀をします。



協会のご紹介と会員募集



協会設立の目的

一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会は、目黒区の文化的・社会的特性を生かした観光振興に向けての事業を行い、芸術文化・スポーツ振興及び産業・地域の活性化を促進することを目的としています。



タモリ名誉会長

大好きな目黒のまちをさらに発展させるにはどうしたらいいか、皆さんと協力して考えていきたいです。
(名誉会長就任時の抱負より)

協会の活動

めぐる観光まちづくり協会はこんな事をしています!



●まち歩き、観光講座

ただ漠然とまち歩きするだけでは得られない知識や目黒のまちの魅力を知ることができます。

●ボランティアガイド養成講座

「まち歩きボランティアガイド」の活動を始めてみませんか?ガイド養成講座では、活動を開始するために必要な観光ボランティアの役割などを学ぶほか、実際に観光スポットを歩いてガイド体験も行います。



●目黒区の友好都市との交流事業



●目黒区内のまつり等への出展



●目黒観光写真コンクール



●めぐる土産の認定

- 目黒観光検定
- 運営会議(会員との情報共有や意見交換の場)
- 協会グッズの製作・販売

情報の発信

- 観光PR動画「都市伝説ツアーズ」、「MEGUROレジェンダース」の制作・配信
- ネットラジオ「ゆるやかめぐろラヂオ」の配信



協会の発行物

- 目黒おでかけ散歩マップ
- 目黒観光大百科
- めぐろ土産
- さくらマナーMAP (目黒川・めぐろ緑道)
- MEGUROレジェンダースグッズ
- 協会オリジナルロゴグッズ



会員募集

ご入会をお待ちしています!

●資格

正会員:当協会の目的及び事業に賛同する個人・法人・団体
賛助会員:当協会の事業を賛助する個人・法人・団体

●年会費

種別	法人・団体会員	個人会員
正会員	1口12,000円(1口以上) ※一般法人法上の社員として、総会での議決権があります。	1口6,000円(1口以上)
賛助会員	1口6,000円	1口2,400円

※1口以上のお申込みをお願いします。

※事業年度(4月から翌年3月)の中途入会の年会費年額は、入会月の翌月から年度末までの月数によります。

※年会費は、年度初め(4月)の支払いとなります。

●入会手続き

- ◇協会ホームページ「入会手続き」からお申込み頂けます。
- ◇お申込み頂いた方には、別途、協会から「会費の納入のお知らせ」をお送りいたします。

●期間

- ◇入会後は、年度毎に自動継続となります。
- ◇当協会を退会される場合は、「退会届」の提出が必要となります。

●特典

- ◆会員還元事業への参加
- ◆協会主催事業への割引参加
- ◆協会販売物の割引
- ◆協会印刷物への広告優先掲載
- ◆法人会員施設等の入場料や飲食代等の割引

めぐろ観光まちづくり協会法人会員

【正会員】 五十音順

令和7年12月19日現在

(株)青木工務店	アクセサリーミュージアム	(株)旭高速印刷
イツ・コミュニケーションズ(株)	(株)オクズミ商事	(株)cotton
サッポロビール(株)	(株)JTB	実相山 正覚寺
松林山 大圓寺	シンク・エンジニアリング(株)	(株)大丸
(株)ダイヤモンド・グラフィック社	(株)手塚興業社	東急電鉄(株)
東急バス(株)	学校法人 東京音楽大学	東京商工会議所目黒支部
(株)トーマン	Bounce Japan合同会社	花谷クリニック
東日本旅客鉄道(株) 目黒駅	マイスタープロイ(株)	目黒イーストエリア商店街連合会
(株)目黒雅叙園	(一社)目黒区産業連合会	目黒区商店街連合会
(株)目黒不動産	(公社)目黒法人会	八つ目やにしむら目黒店
(株)ユーアール	(株)有恒商会	(株)リルセダー

【賛助会員】 五十音順

(有)市塚	(株)海老民	(有)オフィス風太	学芸大学西口商店街振興組合
加藤電気工事(株)	郷さくら美術館東京	城南信用金庫目黒支店	(株)トラスパレンテ
(株)中目黒ジーティー	(株)ピーエイ	目黒区東が丘障害福祉施設	目黒建設業防災連合会
(株)目黒工芸社	目黒電設安全防災協会	宗教法人 羅漢寺	(株)リベラル

※一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会は「おもてなしの心」を大切に、住む人にも訪れる人にも魅力が感じられる、活力あるまちづくりに取り組んでいます。HPをご覧ください、是非ご入会下さい。



目黒観光が**10倍**楽しくなる!?

＼目黒観光大百科(完全版)販売中!／

まち歩きに便利なマップ付き!目黒のみどころ、おすすめスポットをご紹介しています。

歴史と文化を
訪ねるまち、
目黒を歩いてみよう。



目黒を楽しむ情報が満載!



本書はめぐろ観光まちづくり協会が認定する
検定試験「目黒観光検定」の公式テキストです。
めぐろ観光まちづくり協会の事務所または
ホームページにてお買い求めください。



A5判 オールカラー 124頁
定価 **1,100円** (税込)

目黒観光大百科 <ダイジェスト版>

発行日 初版 令和3年3月31日発行

第二版 令和6年9月1日発行

第三版 令和8年1月1日発行

監修 横山 昭一

発行・編集 一般社団法人 めぐる観光まちづくり協会

編集・制作・印刷 ART&旭 株式会社旭高速印刷

この事業は、「(公財)東京観光財団 地域振興助成事業助成金」を活用して実施しています。

「まちがいさがし」であそぼう！

めぐろ
「MEGUROレジェンダース」のみんながなかよくピクニック！
みつけたら、右のえのちがうところに○をつけてみよう！



5. 右下のお花 6. きりんのくわのしほのかたち 7. さいころのかたち 8. シンナーのから

いくつ見つけられるかな？

あれれ？2まいのえには、ちがうところが10こあるよ！
(こたえは下にあるよ)



こたえ

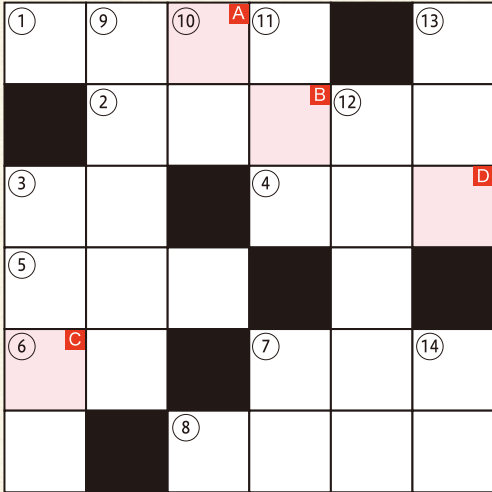
1.バツツトのくだもの 2.青いトリのかたち 3.ばくおのうのかたの三つ目 4.タコさんウインナーのかず 9.くろにおう(うんぎょう)の口 10.アカガシの巨大な株の右耳のヒレわかれのかず

「クロスワード・パズル」に チャレンジしよう!



ヨコとタテのヒントをよんで、マスの中にこたえをいれてね!

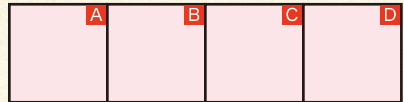
「MEGURO(めぐろ)レジェンダーズ」から、みんなにとどけたいキーワードがかんせいするよ!



「ヨコのヒント」はヨコに、「タテのヒント」はタテにことばをいれよう!

ぜんぶのマスにことばがはいったら「A・B・C・D」のマスの中のことばをぬきだして下のハコにいれてみよう! MEGUROレジェンダーズからのメッセージをよむことができるよ!

MEGURO
レジェンダーズからの
キーワードは...



ヨコのヒント

- ①"おもいつき"、"かんがえ"を英語(えいご)でいうと。
- ②"にじ"を英語(えいご)でいうと。
- ③目黒(めぐろ)におおい、けいしゃのある道(みち)をなんという?
- ④すわっている状態(じょうたい)から立ち上がること。
- ⑤山などで岩石(がんせき)がむきだしになっているところ。
- ⑥春(はる)の七草(ななくさ)のひとつ。
- ⑦"お肉(にく)"を英語(えいご)でいうと。
- ⑧草(くさ)がたくさん生(は)えているところ。

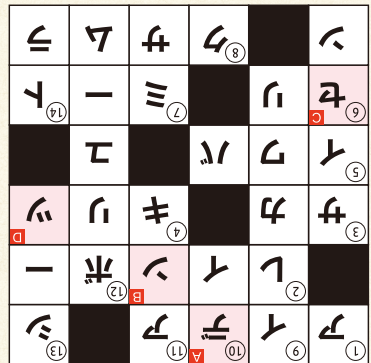
タテのヒント

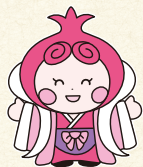
- ③じんじゃやおてらでおいのりするときにハコに入れるおかね。
- ⑨交代(こうたい)すること。○○○○○たちかわり。
- ⑩"日"を英語(えいご)でいうと。
- ⑪見なくてもいえるようにおぼえること。
- ⑦サレジオ教会(きょうかい)などのカトリック教会でおこなわれる集会(しゅうかい)のこと。
- ⑫おとやこえなどの"大きさや分量(ぶんりょう)"を英語(えいご)でいうと。
- ⑬しきぶとんにかぶせるもの。
- ⑭ライオンとならぶ猛獣(もうじゅう)で十二支(じゅうにし)のひとつ。



わからないことばはインターネットでしらべたり、おうちの人にきいたりしてね!

【こたえ】





「ぬりえ」であそぼう♪

～すきな色^{いろ}をぬってね!～

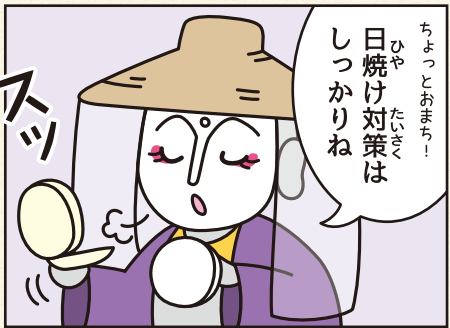
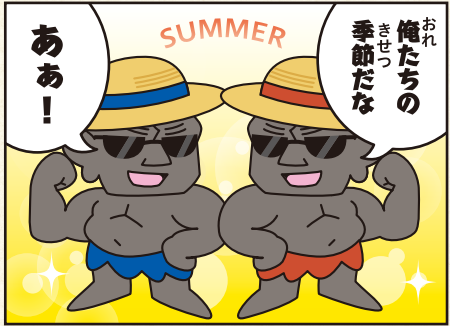
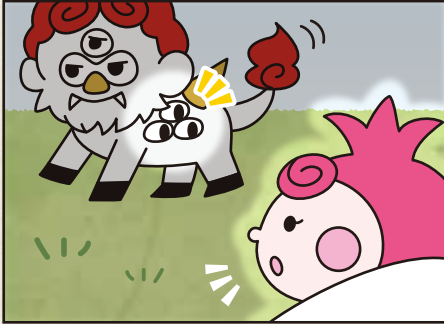


「MEGURO(めぐろ)レジェンダーズ」にすきな色(いろ)をぬって、えをかんせいさせよう。
自由(じゆう)にたのしくぬってあそんでね!



み
見つめちやイヤ

サマー



きりんはウキウキ



MEGURO レジェンダース

人々(ひとびと)に元気(げんき)を
与(あた)えるため立ち上がった
レジェンダースをご紹介(しょうかい)しようかい!



ばくおう

きりん

ひたいとおなかのりょうがわに3つずつ9つの目をもつ。せいぎんがつよく、わざわいややまいをしりぞける。
【お住まい】五百羅漢寺(ごひゃくらかんじ)

とてもやさしく、いかなるせいめいもきずつけないため、いっつもこし浮(う)いている。
【お住まい】五百羅漢寺(ごひゃくらかんじ)

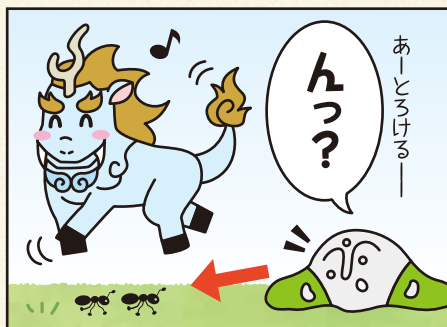


きしもじん

おしろいじぞう

母(は)であり、やさしくてめんどうみがいいが、おこらせることわい。こどもをまもるかみさま。
【お住まい】正覚寺(しょうがくじ)

このおじぞうさまにおけしやうをする
と美人(びじん)になるといわれる。
【お住まい】睡龍寺(ぼんりゅうじ)

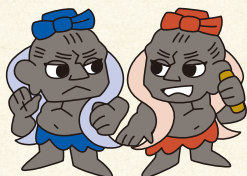
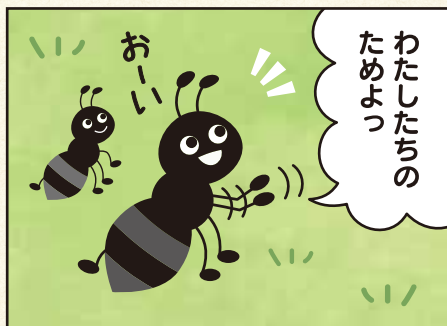


とろけじぞう

きょだい かぶ
アカガシの巨大な株

なやみごとをとかしてくれるおじぞう
さま人のなやみをとかしていたらじぶ
んもとろけた。
【お住まい】大園寺(だいえんじ)

おなかのいたみを治(なお)してく
れるという。枯(か)れてかぶだけの
すがただが、それをきにいっている。
【お住まい】八雲氷川神社
(やくもひかわじんじや)



黒(くろ)く凛々(りんり)しいすがたはむかしからのにんぎもの。そのたくましさからけんごうのまもりがみとされる。
【お住まい】圓融寺(えんゆうじ)

うんぎょう あぎょう
くろにおう(左: 吡形 / 右: 阿形)



めぐろかんこう

だいひゃっか

大百科

ばん
ぎゃく
ばん
だい
げすと
ばん



めぐろへ
あそびに
いこう!



MEGURO

レジェンダース



いっぱんしゃだんほうじん かんこう きょうかい
一般社団法人 めぐろ観光まちづくり協会
Meguro Tourism Association